

したかったのに！後悔の気持ちを表現するには？



バカンスもそろそろ終わりに近づきかけた頃になって、「ああ、**したかったのに！**」と過去を悔やむこと、ありませんか？

さて、これをフランス語でなんというでしょう。

条件法過去を使おう



「この夏、フランスに行きたかったのに（できなかった）！」
こういった**過去への後悔**をフランス語で的確に表すには、ある時制を使います。
それは、苦手とされている方も多い**条件法過去**。

文型は「J'aurais voulu + 動詞不定形」
単独で使えてしかも動詞は不定形、とっても便利な表現なのです。

発音は「ジョレヴリュ」
ジョレヴリュ、ジョレヴリュ、ジョレブリュ・・・・・・・・まずは音で頭にインプットしましょう
！

J'aurais voulu + 動詞不定形を使った例文

Cet été, **j'aurais voulu aller** en France.

(この夏、フランスに行きたかったのに。)

「J'aurais voulu (ジョレヴリュ) + 動詞不定形」は毎日でも使う機会があります。ぜひ覚えてくださいね。

応用編

「できたのに」
J'aurais pu (ジョレピユ) + 動詞不定形

「すべきだったのに」
J'aurais dû (ジョレデュ) + 動詞不定形

まとめ

条件法はまだ教わっていないという方もご心配なく。「ジョレヴリュ」という音に動詞不定形をつけるだけで「したかったのに」とフランス語でサラッとすることができます。ぜひ会話で使ってみてくださいね。

執筆：アンサンブルアンフランセ講師 Miwa

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

